

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月28日

計画の名称	川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度 ～ 令和07年度（4年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	川崎市													
計画の目標	下水道による良好な循環機能の形成													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		15,048	A	15,048	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3末		R7末
1	浸水対策実施率（％）を28.1％（R3末）から40.8％（R7末）に増加 重点化地区（三沢川、土橋、京町・渡田、川崎駅東口周辺、大島、観音川地区）において、浸水対策が完了した面積の割合 浸水対策実施率（％）＝重点化地区の浸水対策完了済面積／浸水対策重点化地区対象面積			
		281%	%	408%
2	水処理センター・ポンプ場の耐水化率（％）を50％（R3末）から83.3％（R7末）に増加 水処理センター・ポンプ場において、内水、外水などの浸水リスクを対象とした対策が完了した施設の割合 水処理センター・ポンプ場の耐水化率（％）＝災害時の施設浸水に向けた対策が完了したポンプ場、水処理センター数／ポンプ場・水処理センター数			
		500%	%	833%
3	水処理センターの揚水機能確保率（％）を75.0％（R3末）から100％（R7末）に増加 水処理センターにおいて、揚水機能を対象とした地震対策が完了した施設の割合 水処理センターの揚水機能確保率（％）＝災害時の揚水機能の確保に向けた対策が完了した水処理センター数／水処理センター数			
		750%	%	1000%
4	ポンプ場の汚水揚水機能確保率（％）を54.5％（R3末）から100％（R7末）に増加 ポンプ場において、汚水揚水機能を対象とした地震対策が完了した施設の割合 ポンプ場の汚水揚水機能確保率（％）＝災害時の汚水揚水機能の確保に向けた対策が完了した汚水ポンプ場数／汚水ポンプ場数			
		545%	%	100%
5	水処理センターの消毒機能確保率（％）を50.0％（R3末）から50.0％（R7末） 水処理センターにおいて、消毒機能を対象とした地震対策が完了した施設の割合 水処理センターの消毒機能確保率（％）＝災害時の消毒機能の確保に向けた対策が完了した水処理センター数／水処理センター数			
		500%	%	500%

[illegible]

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	一	連携中枢都市圏を含む	一	流域水循環計画を含む	一	地域再生計画を含む	一

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（ 合流）	新設	六郷遮集幹線（合流改善 ）	L=2, 100m	川崎市	■	■				5, 050		－
	A07-002	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	新設	大師河原・大師臨港地区 （合流改善）	大師河原送水ポンプ棟等	川崎市	■	■				1, 630		－
	A07-003	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	改築	大島ポンプ場（地震対策 ）	汚水ポンプ棟耐震補強等	川崎市	■	■	■	■		560		－
	A07-004	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	改築	小向ポンプ場（地震対策 ）	汚水ポンプ棟耐震補強等	川崎市	■	■	■	■		525		－
A07-005	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	改築	丸子ポンプ場（地震対策 ）	汚水ポンプ棟耐震補強等	川崎市	■	■	■	■		550		－	
A07-006	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処 理場	改築	麻生水処理センター（地 震対策）	ポンプ棟耐震補強等	川崎市	■	■	■	■		920		－	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（ 雨水）	新設	三沢川地区（浸水対策）	L＝2, 020m	川崎市	■	■	■	■		1, 234	5. 0	－
	A07-008	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（ 雨水）	新設	土橋地区（浸水対策）	L＝2, 733m	川崎市	■	■	■	■		798	1. 1	－
	A07-009	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（ 合流）	新設	川崎駅東口周辺地区等	浸水対策検討	川崎市	■	■	■	■		100		－
	A07-010	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	新設	江川ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		2		－
	A07-011	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	新設	戸手ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		175		－
A07-012	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	新設	加瀬ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		96		－	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-013	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	新設	古市場ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		213		－
	A07-014	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	新設	京町ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		84		－
	A07-015	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	新設	登戸ポンプ場（耐水化）	防水扉等	川崎市	■	■	■	■		41		－
	A07-016	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処 理場	改築	入江崎水処理センター地震時機能停止リスク低減対策	躯体	川崎市	■	■	■	■		2,450		策定済
	A07-017	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処 理場	改築	入江崎水処理センター地震時機能停止リスク低減対策	燃料タンクほか	川崎市	■	■	■	■		150		策定済
	A07-018	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	終末処 理場	改築	麻生水処理センター地震時機能停止リスク低減対策	燃料タンクほか	川崎市	■	■	■	■		200		策定済

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-019	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	改築	丸子ポンプ場地震時機能 停止リスク低減対策	燃料タンクほか	川崎市	■	■	■	■		90		策定済	
	A07-020	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	ポンプ 場	改築	江川ポンプ場地震時機能 停止リスク低減対策	燃料タンクほか	川崎市	■	■	■	■		50		策定済	
												小計						14,918		
水道・下水道事業	A07-021	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	管渠（ 合流）	改築	防災拠点接続管等（地震 対策）	L=2,555m	川崎市					■		130		－
												小計						130		
											合計							15,048		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

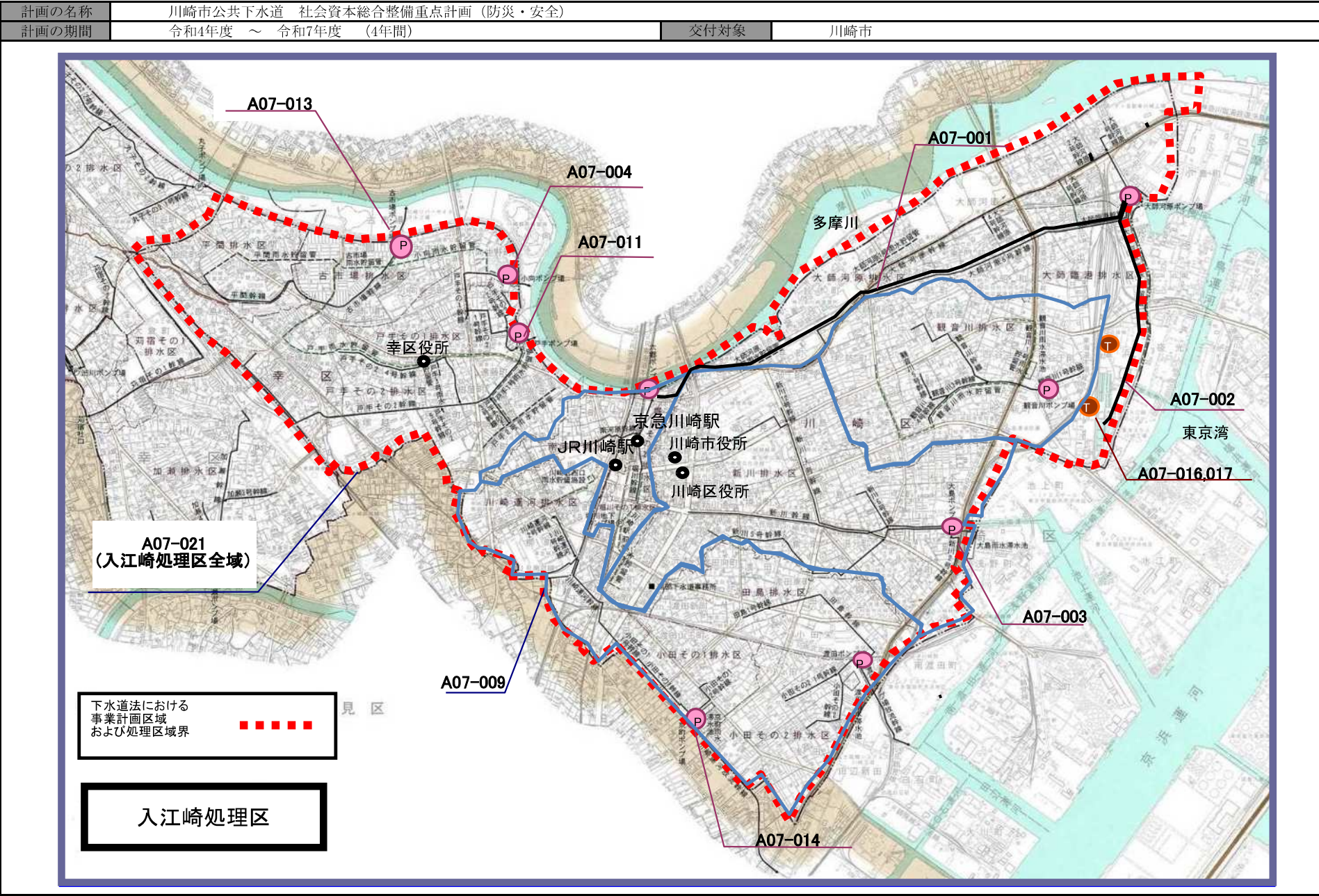
	R04	R05	R06		
配分額 (a)	1,477	739	24		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	1,477	739	24		
前年度からの繰越額 (d)	0	1,289	729		
支払済額 (e)	188	1,299	729		
翌年度繰越額 (f)	1,289	729	24		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	19		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	2.52		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

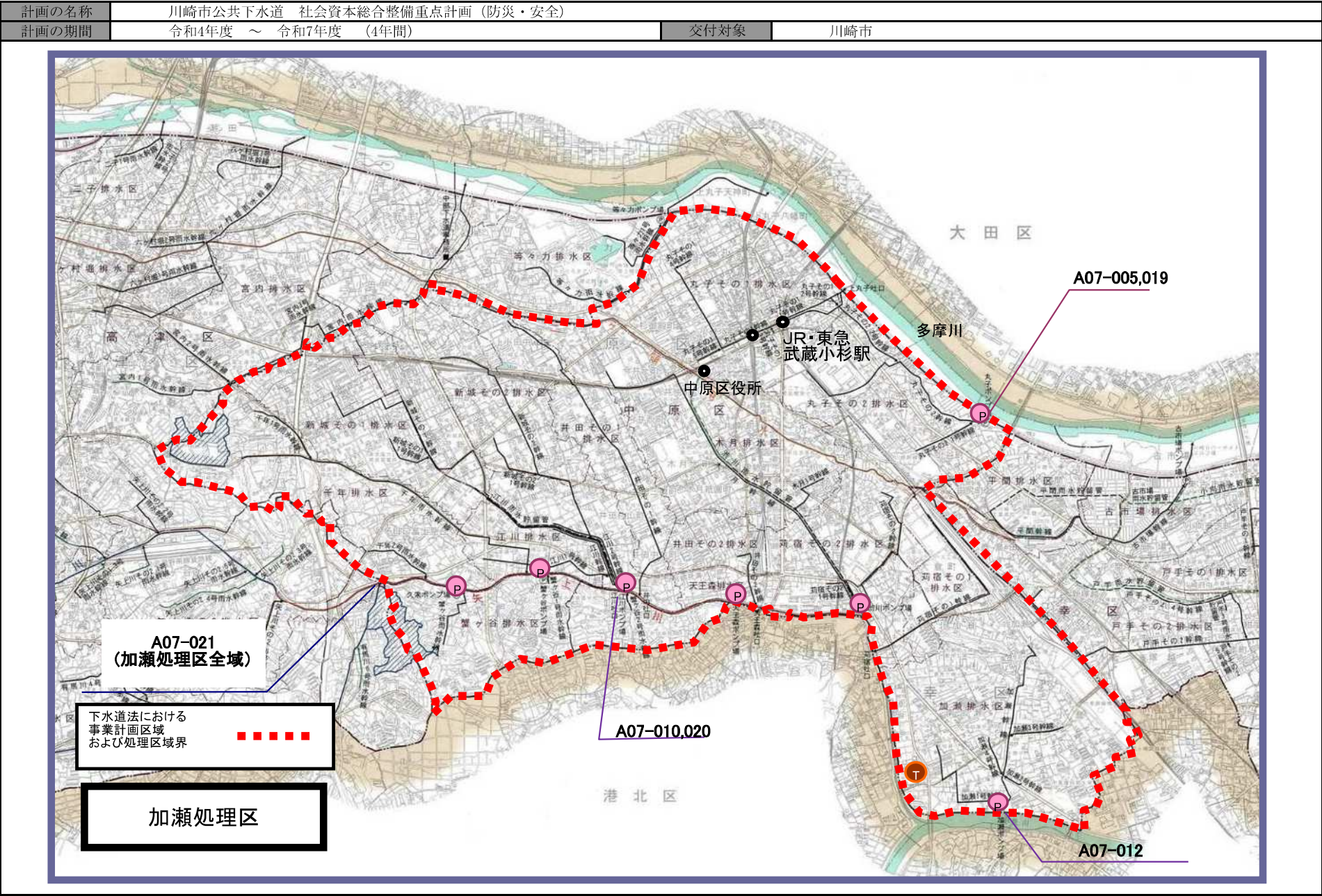
計画の名称： 川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画（防災・安全）

[illegible]

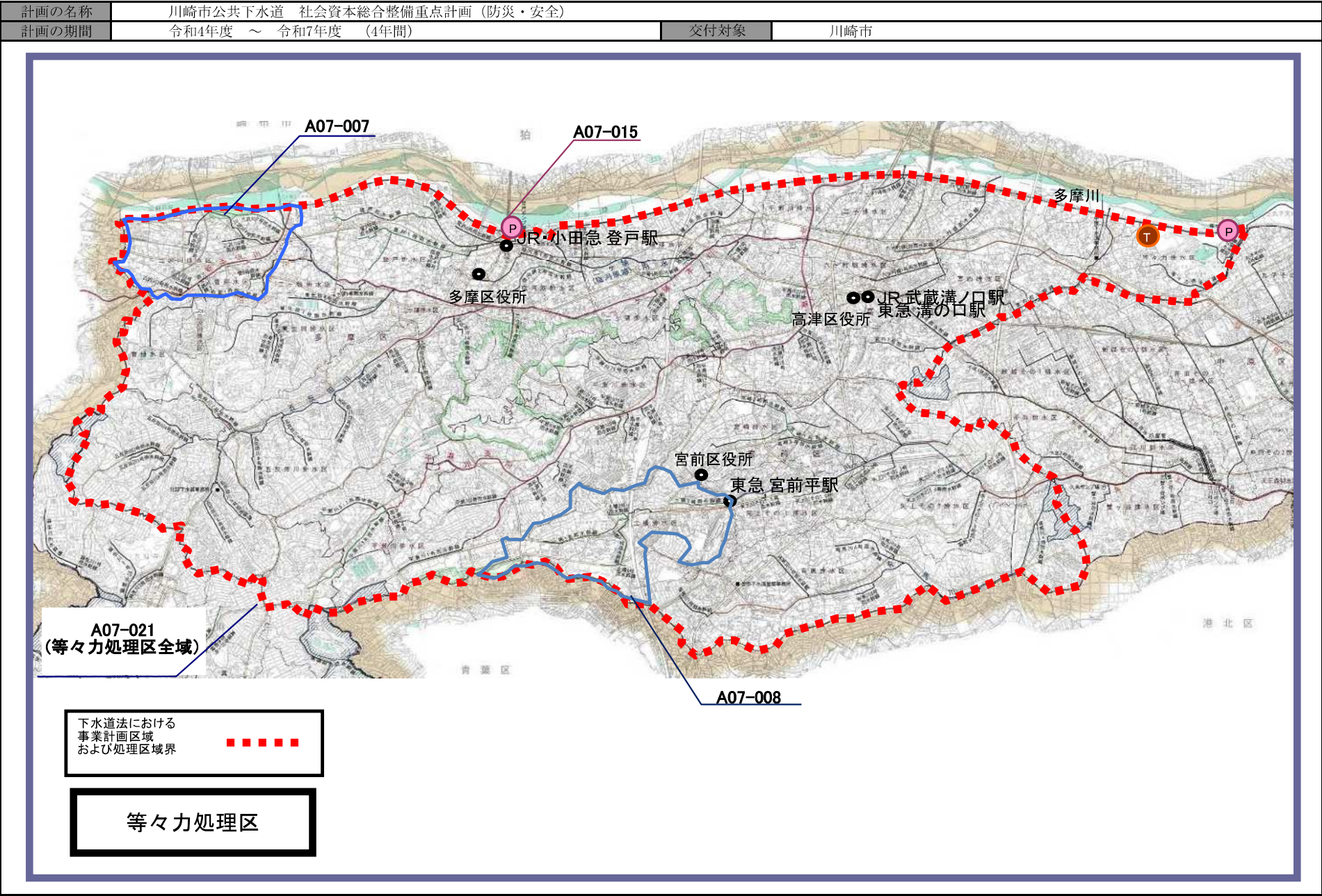
(参考図面)



(参考図面)



(参考図面)



(参考図面)

計画の名称	川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画（防災・安全）		
計画の期間	令和4年度 ～ 令和7年度（4年間）	交付対象	川崎市

計画の名称: 川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画（防災・安全）

計画の期間: 令和4年度 ～ 令和7年度（4年間）

交付対象: 川崎市

地図内容: 麻生処理区（麻生区全域）の下水道事業計画区域および処理区域界を示す。周辺の市町村（稲城市、多摩市、町田市）も表示されている。主要な駅（小田急新百合ヶ丘駅）や区役所（麻生区役所）の位置も示されている。排水区（排水区域）の境界線も描かれている。

図例: 下水道法における事業計画区域および処理区域界（赤い点線）

麻生処理区

特定区域コード: A07-021 (麻生処理区全域), A07-006,018